

(別表第1の4)

事業所名 グループホームつどい

目標達成計画

作成日: 平成 27年 3月 26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | | |
|----------|------|---|---|---|------------|--|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 | 目標達成状況(任意) |
| 1 | 33 | 当事業所は「終の棲家」として利用者を受け入れている。利用者の状況は時間の経過とともに確実に重度化してくる。重度化対応や看取りの支援は避けられない課題となっている。それに対する、職員の意識統一、ケアのレベルアップが必要である。 | 職員全員がグループホームにおける重度化対応および看取りについて、意義と目的を共有し、母体病院の協力を得て、看取りケアの経験を積み、ご利用者・ご家族の意向に添った終末期支援を行う。 | 研修を繰り返し行うことにより、職員全体で意識統一する。定期ミーティング等で所内研修を行う。外部研修の機会があれば参加する。 | 12 か月 | 27年3月23日の所内研修では、出席者の関心は高く、「今は、不安であるが、指導を受けて、経験を積んでゆきたい。」との意見が多かった。 |
| 2 | 35 | グループホームでは、ひとたび火災が発生すれば、入居者は自力で避難することは困難。特に職員の少ない夜間帯では、全入居者を短時間で避難させることは、困難と予想される。より一層の消火・通報・避難体制の強化及び火災発生防止に努めなければならない。 | 火災・地震・水害等の災害時に、利用者の生命を守り、安全確保の方法を全職員が理解し実行できる。地域との協力体制を構築する。 | ①事業所の災害時対応マニュアルを身近に掲示し、敏速な対応ができるように、朝会等で確認する。 ②年2回の防災訓練には地域住民にも参加してもらい、災害時の協力を依頼する。(運営推進会議で防災訓練への参加協力を了承していただいた。) ③夜間の少人数の職員態勢を想定した避難訓練を実施する。 | 12 か月 | |
| 3 | | | | | か月 | |
| 4 | | | | | か月 | |

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。□

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告して下さい。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告して下さい。

(別表第1の5)

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

| 【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】 | | 取 り 組 ん だ 内 容 | |
|---------------------------|--------------------|----------------------------------|---|
| 実施段階 | | (↓該当するものすべてに○印) | |
| 1 | サービス評価の事前準備 | <input checked="" type="radio"/> | ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った |
| | | <input checked="" type="radio"/> | ②利用者へサービス評価について説明した |
| | | <input checked="" type="radio"/> | ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した |
| | | <input checked="" type="radio"/> | ⑤その他() |
| 2 | 自己評価の実施 | | ①自己評価を職員全員が実施した |
| | | <input checked="" type="radio"/> | ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った |
| | | | ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った |
| | | <input checked="" type="radio"/> | ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った |
| | | <input checked="" type="radio"/> | ⑤その他() |
| 3 | 外部評価(訪問調査当日) | | ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった |
| | | <input checked="" type="radio"/> | ②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた |
| | | <input checked="" type="radio"/> | ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た |
| | | <input checked="" type="radio"/> | ④その他() |
| 4 | 評価結果(自己評価、外部評価)の公開 | | ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った |
| | | <input checked="" type="radio"/> | ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った |
| | | <input checked="" type="radio"/> | ③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った |
| | | | ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った |
| | | <input checked="" type="radio"/> | ⑤その他() |
| 5 | サービス評価の活用 | | ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した |
| | | <input checked="" type="radio"/> | ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する) |
| | | <input checked="" type="radio"/> | ③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する) |
| | | <input checked="" type="radio"/> | ④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む) |
| | | <input checked="" type="radio"/> | ⑤その他() |